

高温真空熱処理炉 E356



高温真空熱処理炉E356は、最高到達温度1700℃の能力を有し、加熱源はカーボンヒーターにて熱処理を行う装置です。主に複数の材料同士を接合するために1000℃以上かつ表面参加防止のために高真空雰囲気中で処理することを目的とした装置となっております。

到達圧力は $\times 10^{-4}$ Pa台の性能を有し、メインポンプはターボ分子ポンプを採用している為、クリーンな環境下となっております。真空空間を構成する水冷二重ジャケット式のチャンパー本体、加熱系及び断熱板、装置設置架台、真空排気系、制御系から構成されます。

高温真空熱処理炉 E356 仕様

○到達圧力	2.0 $\times 10^{-4}$ Pa台以下(ワーク無・常温時・脱ガス完了後)		
○作業圧力	$\times 10^{-3}$ Pa台以下(ワーク無・加熱時)		
○加熱温度	最高到達温度1700℃ 常用温度1400℃		
○均熱温度分布	1700℃において □150mm \times 150mm \times 150mmの範囲内にて3点の 温度分布が $\pm 10^\circ\text{C}$ 以内		
○加熱方法	カーボンヒーター4面		
○断熱板	カーボン断熱材		
○加熱制御	PID式プログラムコントローラ制御		
○真空排気系	油回転ポンプ:800L/min[60Hz] ターボ分子ポンプ:2400L/sec [N ₂]		
○真空計	コールドカソードピラニ真空計		
○操作方法	7インチTFTカラータッチパネル 自動操作/手動操作/各警報表示		
○ユーティリティ	電力	三相:AC200V 30A 単相:AC200V 150A 単相:AC100V 20A	1系統 1系統 1系統
	計装エア	圧力:0.5MPa \sim 0.7MPaG	1系統
	冷却水	圧力:0.1 \sim 0.3MPaG 流量:25L/min以上 差圧:0.1MPaG 水温:25℃以下 冷却能力:12.2kW以上 水質:日本冷凍空調工業会の水質管理基準	1系統
	乾燥窒素	圧力:0.05MPaG \sim 0.2MPaG	1系統
○設置スペース	本体:1000mmW \times 1400mmD \times 約1700mmH(突起部除く) 制御盤:570mmW \times 810mmD \times 約1600mmH トランス:450mmW \times 450mmD \times 700mmH		
○オプション	カーボン断熱材発塵防止コート処理/計装エア用コンプレッサー/装置冷却用冷却水循環装置		

